

那加三だより

那加第三小学校
学校だより
R6. 4. 9



学校の教育目標 「かしこく ゆたかに たくましく」

←学校ホームページで、子ども達の姿をご覧ください <http://edu-kakamigahara.com/naka3sho/>

ご入学・進級、おめでとうございます

4月8日(月)は、那加第三小学校のすべてのみなさんにとって、新しさいっぱいすばらしいスタートの日になりました。新しい教室、新しい学級、新しい友達、そして新しい先生と、すべてがフレッシュです。子どもたちは、この環境の変化を自分の励みにして、前の学年とは違った、新しい自分を見つけようとしています。

その心は、子どもたちの晴れやかで嬉しそうな表情に表れています。学級発表の掲示を見る姿、教室に入ってあいさつをする姿、着任式で新しい先生を見る姿、学級開きの教室に座る姿など、どの姿もキラキラしています。その姿を見ると、私たち学校教職員は心から子どもたちを応援したくなります。保護者の皆様も、きっと同じ気持ちでみえると思います。子どもたちの門出を、皆で精一杯応援しましょう。



一方で、大きな環境の変化やがんばろうとする気持ちが、子どもたちの中に、見えないストレスとなって心を苦しくすることが無いわけではありません。子どもたちにとって一番身近で話しやすい学級担任はもちろんのこと、校内には「おいでよ相談室」というスペースもあり、相談員との相談を通して心をすっきりできる場所もあります。保護者の皆様が、お子さんを温かくお見守りいただけるように、私たち学校教職員も見守っておりますので、お子さんについて気づかれたことがあればお知らせください。

「あ・そ・ぼ・う」の伝統を強くする年に

6年生を送る会で、前年度の6年生から引き継ぎのセレモニーがあり、その中で子どもたちが選んだのは、「あ・そ・ぼ・う」というキーワードでした。那加第三小学校では、数多くある学校の諸活動の中で特に「あいさつ」「そうじ」「ボランティア」「うたごえ」に力を入れて、学校をよりよくしようと伝統的に取り組んでいます。「あ・そ・ぼ・う」はそこからくるキーワードです。「あ・そ・ぼ・う」は、那加第三小学校の大切な活動場面として、子どもたちの中に定着をしてくれています。

令和6年度は、子どもたちに、この伝統を強くすることを託したいと考えています。

昨年度の「あいさつ」では、自分からのあいさつやお辞儀をするあいさつなど、相手の心をほっこりさせるあいさつを子どもたちは大切に目指してきました。(めげせ、ほっこりあいさつ!)といった感じに、全校のあいさつが力強くなってきています。

『「あいさつ」にならって、どんなそうじの姿を、どんなボランティアの姿を、どんなうたごえの姿を全校で目指していくのかみんなで見つけて、「あ・そ・ぼ・う」の伝統を強くしよう。』と始業式で子どもたちに話しました。これからの子どもたちの成長がとても楽しみです。

皆様にも、子どもたちの活躍を学校だよりやHPなどでお伝えしますので、ご期待ください。

本年度1年間、よろしく願いいたします。

(文責 校長 加藤浩幸)